

学校をよりよくしていくための「保護者アンケート」結果について

平成30年12月には、御多用のところ「保護者アンケート」に御協力くださりましてありがとうございました。結果がまとまりましたので概要を報告いたします。今後の学校運営に生かしたいと思っております。

1 全体の概要

今年度の保護者アンケートは169名(84.0%)の方から回答をいただきました。Aの「よく当てはまる」が多かった項目は、昨年と同様に「子どもは、部活動に自主的に参加している。」「子どもは、学校行事に積極的に参加している。」「子どもは、学校が楽しいと言っている。」でした。部活動や学校行事で、真剣に一生懸命取り組む姿がよく見られました。また友人と互いに協力し合い、励まし合う様子も見られ、その様子をホームページや学校・学年だより等でお知らせすることができていたと思います。学校生活においても、生徒たちの笑顔がたくさん見られるようになってい

ます。Aの「よく当てはまる」が少なく、かつDの「全くあてはまらない」が比較的多かった項目は、「子どもの学力は、向上していると思う。」「子どもは、家庭で決まった時間に机に向かう学習習慣ができている(3S)」でした。また、「教師は基礎・基本の定着を目指して、分かりやすい、丁寧な授業に努めていると思う(3S)」「子どもは、授業が分かりやすいと言っている」の項目でもAが少なかったです。生徒の基礎・基本の定着と学習習慣の定着、及び学力向上に向けて、分かりやすい授業を実践するために、更なる研修を積んでいこうと思います。

2 評価の高かった項目 (A「よく当てはまる」+B「やや当てはまる」)

	質問項目	質問内容	A+B %
1	NO. 15	子どもは、学校行事に積極的に参加している。	93%
2	NO. 16	子どもは、部活動に自主的に参加している。	92%
3	NO. 20	学校は、保護者に対して、教育活動の説明や情報提供に努めていると思う。	91%

学校では、「豊かな人間性をはぐくみながら創造性を伸ばすとともに、意欲的に勉学に励み、新しい社会をたくましく生き抜こうとする心身ともに健康な生徒を育成する」ことをめざして授業や様々な体験活動等を実践しています。アンケート結果から、「学校行事への積極的参加ができている。」と思われる保護者は93%(昨年度92%)の高い数値となっています。生徒も89%が「学校行事に積極的に参加している。」と答えています。

ホームページを通じた情報発信や学年だよりの発行、学校公開等、教育活動の説明や情報提供についても91%(昨年度92%)の保護者の皆様が「当てはまる」と答えています。

具体目標のひとつ「豊かな心をもつ生徒」の育成に向けて、道徳教育の充実はもちろんのこと、特別活動の「生命の授業」、「赤ちゃんふれあい体験」や教育相談の充実など、様々な取組を行っているところです。学校での生徒の様子を見ていますと、笑顔の場面が増えてきたように思います。ただ一部で、相手に不快感を与えたりするような言動等が見られます。その都度適切な言動がとれ

るように引き続き指導していきたいと思います。

3 評価の低かった項目（C「あまり当てはまらない」+D「全く当てはまらない」）

	質問項目	質問内容	C+D %
1	No. 4	子どもの学力は、向上していると思う。	44%
2	No. 3	子どもは、家庭で決まった時間に机に向かう学習習慣ができてい る。	43%

アンケートの結果からは、「学力は向上している。」という質問に対して「当てはまらない」と回答した保護者は44%（昨年度52%）でした。また、「家庭で決まった時間に学習する習慣ができてい
る。」という質問に対しては、「当てはまらない」と回答した保護者は43%（昨年度48%）
でした。昨年度との比較ではやや改善に兆しがみられます。学力の向上のためには、基礎・基本の定着が必要であり、そのためには授業で学習したことを復習することが不可欠です。また学校で学習した内容をより深めたり広げたりするためにも、家庭学習の習慣化は大切です。学校でも、昨年同様、「生活の記録」に学習内容の確認や家庭学習の計画実施を記録して、家庭学習の習慣化を図るための指導をしていますが、更に根気よく続けていきたいと思います。御家庭でも、決まった時間に机に向かう習慣づくりに向けて御指導いただければと思います。

4 御意見の多かった点について

質問項目NO.18「学校は、安全な登下校や自転車の乗り方などの指導に努めていると思う。（安全教育、ヘルメットの着用、自転車の乗り方、下校指導等）」について89%（昨年度84%）の方が「当てはまる」（A+B）と回答しています。学校での取組に御理解くださりましてありがとうございます。ただ、保護者の皆様や地域の皆様から「スマホを使用しながら登校している。」「ヘルメットをきちんとかぶっていない。」「右側通行が危険である。」「並列走行が危険である。」…という御意見をいただいています。学校では、安全な登下校に向けて全職員で指導しているところですが、まだ一部の生徒が守れていない状況です。引き続き指導していきます。各地域でも御指導、声かけ又は御連絡をしていただけるとありがたく思います。地区理事や厚生・生活指導の皆様を中心に、御協力くださるようお願いいたします。

質問項目NO.19「情報機器（パソコン、携帯電話、スマートフォン）の使用やテレビ等の視聴について、家庭での約束事を決めている。」について75%（昨年度75%）の方が「当てはまる」（A+B）と回答しています。生徒たちの適正な使用に向けて約束事を決めていただきありがとうございます。学習習慣の定着という点でも大切な事です。他地区、他校も含めて、「LINE」等でのトラブルが、まだまだ発生しております。個人情報や第三者に安易に伝えること、ネット上への安易な映像掲載、根拠のない情報、不適切な映像をネット上に流してしまうことなど、相手のことやその後のことを考えていない事案が発生しております。インターネットに接続できるということは、いろいろな情報とともに、中学生にとって有害な情報も比較的安易に子どもたちの目に入るということを重く受け留め、指導していきたいと思います。もちろん情報端末の使用は有益な部分がありますが、また同時に危険性を多く含んでいることでもあります。保護者の皆様にもその点を御理解の上、子どもたちの適切な使用について御家庭でも細かにルールを確認いただき、適切な使用に向けて御協力くださいますようお願いいたします。